

HYT

究極の錬金術師、HYT の *Hydro Mechanical Horologists* (ハイドロ メカニカルホロロジスト) は、機械と液体を組み合わせるというユートピアを現実のものとし、まさに反画一主義の彼らは、高級時計製造の厳しい規範に基づいてはいたものの、易々とそれらを粉々に打ち砕きました。

水で時刻を表示するという途方もない挑戦に成功した彼らは、時計製造の成層圏に新しい未確認飛行物体を飛ばしたわけではなく、先験的に対立する 2 つの世界を結び付けて、あらゆるもともらしさを粉碎したのです。古代エジプトの水時計以来、重力の法則を免れて、その動力を着用できる時計に応用することはできませんでした。HYT はそれを成し遂げたのです。

ライトモチーフ(示導動機): 機械式流体制御または究極のハイブリッド。方法: 先進的な時計の開発、頂点に達するエンジニアリング、ハイテクの材料、感情に訴えるデザイン。

HYT 初の作品: H1。それだけでブランドのアイデンティティを具現化する高級時計のモデル。革新へのこだわり、妥協のない制作、品質について一切譲歩しない姿勢。それは HYT のあらゆる考えの中心的存在である製品です。常套的な方法によらない直感的な読み取りを提案する時計作品。スケールの大きいメカニズム、まったく新しいアプローチの証左。一切が偶然の産物ではない大胆な構造。それぞれの部品は思慮深く研究され、忍耐強く組み立てられます。インスピレーション豊かで反逆的なデザインは、並外れた個性と創造性を強調するという規範を認めさせます。

新規軸のインキュベーター(孵化器)である HYT の機械式流体制御の実験室は、ハイブリット化に関して完璧を追求しています。H1 はそれを高級時計 2.0. の伝説の中に入れることとなります。